

# わにがまちにやってきた



原作/K・チュコフスキー  
 (岩波書店刊「わにがまちにやってきた」より)  
 訳/内田莉沙子  
 脚色/安尾芳明  
 演出/栗原弘昌  
 美術デザイン/宮本忠夫  
 人形構造/斉藤英一  
 音楽/宮崎尚志  
 編曲/宮崎 道  
 音響効果/吉川安志  
 照明/阿部千賀子



むかしロシアのペトログラード大通りに、突然ワニが歌を歌いながら現れたから大騒ぎ! そのいでたちは洒落た服装に帽子をかぶり、葉巻をプカプカ。勇ましいワーニヤ坊やが立ち向かうと、ワニの言うことには…。

## いろんなところにいるかも、わにさん 演出 栗原弘昌

みんなのクラスに来るかも? わにさん。  
 お父さん、お母さんの会社にいるかも? わにさん。  
 日本の国に突然現れたりして! わにさん。  
 そして、みんなの心の中にもいたりして!? わにさん。  
 そうなんだ。“わにさん”がこのお芝居を観てくれる人それぞれに、いろんな見え方があったらいいなあと思っています。そんな時、先入観で判断するのではなく、陰から物を言うのでもなく、正面で顔と顔を向き合わせて何かをしてみてください。(勿論メールでもなく)お話をするのでもいいでしょうし、時には一緒に遊んだり、又はある時は唄をうたったり踊ったりすることかもしれません。  
 そこには何かが生まれ何かが変わるはずです。それは単純に、○か×では言い表せないものを感じる心、なのかなあ。

## ピーターとおおかみ

原作/セルゲイ・プロコフィエフ 構成・演出/西本勝毅  
 作・編曲/松本雅隆・上野哲生 音楽/ロバの音楽座

おじいさんと深い森の中で暮らすピーターのまえに一匹の大きな灰色おおかみがあらわれ、ともだちのアヒルをペロリ。ピーターはおおかみをつかまえようとロープを手に木に登り… 世界中の子どもたちに愛されているプロコフィエフ原作の管弦楽用の同作品を、ロバの音楽座によるヨーロッパの古楽器とプークの人形たちで織りなす「ピーターとおおかみ」、新しい人形劇の世界の誕生です。

## ピーターは口笛を吹く 演出 西本勝毅

ピーターのテーマ曲は、誰でも自由に吹ける口笛です。楽譜や楽器にとらわれないしなやかな感性を持った少年そのものです。対するおおかみは、迫力あるセルパンです。森に生きるおおかみは、生きるためにエネルギーに獲物を狙います。ピーターとおおかみの気持ちがぶつかり合い、恐ろしいおおかみを仲間の動物たちの力を借りて捕まえるまで、人形がダイナミックに動きます。ピーターの口笛が森に響いてゆく時、ピーターとおおかみの気持ちが共鳴しあい、共に森をかけぬけます。これからもピーターは、元気に口笛を吹いてゆくことでしょう。

### 公演概要

- 上演時間 1時間20分(休憩15分含む)
- 編成 キャスト5名、スタッフ1名
- 運搬 2 tトラック1台
- 諸経費 上演料+交通費+車輜経費

お申込み・お問合せ **人形劇団プーク**

〒151-0053  
 東京都渋谷区代々木2-12-3  
 TEL 03-3370-3371 FAX 03-3370-5120  
 HP <https://www.puk.jp/> mail [puppet@puk.jp](mailto:puppet@puk.jp)